

第 741 回

仙元山

春の匂いが漂う中、桜がつぼみを膨らませ、潮風が吹き抜ける標高118mの仙元山の頂きの石碑には「食行身祿 不二仙元大菩薩」とあり裏面には文政9年と刻まれている。推察すると仙元山は富士山の遥拝山として親しまれていたようだ。



◇参加者 7名

(敬称略)

川崎 勝弘、高橋 武久、小池 由美子、山内 浩司、弘海 愛子、景山 康二、
多田 晋 (記)

<催行日>

令和7年

3月26日(水)

Cコース

天候(快晴)



仙元山山頂の石碑



山頂の大きな翌檜の木

<コース>

○逗子駅

○風早橋

○仙元山

○風早橋

○逗子駅



山頂から裕次郎灯台を望む



早春のもみじ葉

<担当幹事>

多田 晋